

部会名	未来の担い手づくり部会												
部会の目的	学校はもちろん学校外における学びの場を充実することで、益田で暮らす子どもたちにとって生活の場すべてが学びの場となり、そのような学びの環境の中で子どもたちが育つことで、自らの人生を能動的に生き抜く力を身につけさせる。 そのためには学校と学校外の学びの場をつなぐ“拠点（公民館）”や“ひと（コーディネーター）”、“支援団体（中間支援組織等）”のさらなる機能充実と連携が必要であり、協働と対話の手法により未来の担い手の育成を図る。												
ターゲット	・ 保幼小中高の各年代 ・ 対象のプログラムに関わる大人												
令和3年度進捗状況・前年度からの改善点	子ども福祉課 基本目標Ⅰ 子育てにやさしく、誰もが健やかに暮らせるまち 基本施策1 結婚・出産・子育ての支援 ①安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境づくり ②地域ぐるみの子育て支援の推進と学びや活動の場の創出 ・ 子育て支援事業実施施設における子育て支援活動 ますだ交流館：イベント数 18 / 来館者数 2,274 人 （ラミネートアート・歴史散策など） 吉田なかよしセンター：イベント数 11 / 来館者数 1,255 人 （お皿に絵をかこう・七夕会など） 連理松センター：イベント数 20 / 来館者数 1,132 人 （高校生とあそぼう・和紙でランプシェードづくりなど） 飯田子育て支援館：イベント数 9 / 来館者数 1,268 人 （みんなで遊ぼう！グランドゴルフ・いも植えなど） 新型コロナウイルス対策を行ったうえで活動した。近年の状況としては、子ども以上に大人の利用割合が高く、地域コミュニティの場としての位置づけにシフトしている。令和3年度で子育て支援事業が終了し、新たな支援事業を実施するにあたって、今後の施設の活用法について引き続き検討していく。 ⑤子育てと仕事が両立できる環境づくり ・ 保育の質向上研修(6/1、6/21、7/8、8/5、8/31…参加者合計 180 人)												
※実績数値が分かるように記載。	<table><tr><th>指標名</th><th>現状値</th><th>目標値（R3 年度）</th></tr><tr><td>婚活支援イベント回数</td><td>0 回</td><td>3 回</td></tr><tr><td>放課後児童クラブの待機児童数</td><td>7 人</td><td>0 人</td></tr><tr><td>保育士などの資質向上のための研修会における理解度</td><td>80%</td><td>50%</td></tr></table>	指標名	現状値	目標値（R3 年度）	婚活支援イベント回数	0 回	3 回	放課後児童クラブの待機児童数	7 人	0 人	保育士などの資質向上のための研修会における理解度	80%	50%
指標名	現状値	目標値（R3 年度）											
婚活支援イベント回数	0 回	3 回											
放課後児童クラブの待機児童数	7 人	0 人											
保育士などの資質向上のための研修会における理解度	80%	50%											
	学校教育課 横断目標 社会変化に対応できる持続可能なまち												

基本目標Ⅱ ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち

基本政策 1 次世代を担う人を育てる教育環境の充実

○GIGA スクール構想で「つながる」学びの充実に関する取組【新規】

- ①大容量・高速回線で遠くの人とつながる学び（遠隔授業等）
- ②1人1台端末で地域とつながる学び（持ち帰り端末）
- ③デジタルキャリアパスポート等、自分の学習がにつながる学び（クラウドの利用）

上記取組に係る具体的な事例

- ・課と学校をまたいだGIGAに特化した組織の立ち上げ
外部専門家を交えて、益田市のビジョンやセキュリティ等の検討
各学校のICT担当者の協働を促すしかけによるOJT研修の推進
（外部専門家を交えた会議は必要に応じて随時実施、各学校のICT担当者との会議は年2回実施）
- ・小規模校6校をつないだ児童交流（修学旅行の班活動等）
- ・情報モラル教室（前期10校実施済 / 後期6校実施予定）
- ・NPO法人みんなのコードと連携したプログラミング研修会（6月2回実施）
- ・プログラミング教育研修会（①12月 高津小 県プログラミング教育推進事業 ②1月 市内小学校 市教委悉皆研修）※開催時期変更
- ・経済産業省事業を活用した中学校技術科のオンラインでのプログラミング教育（中学校8校で実施中）
- ・情報モラルの視点からの動画作成講座（匹見中学校）

指標名	現状値	目標値（R3年度）
ICTを1日1回以上の授業で活用 （小学校）	—	85%
ICTを1日1回以上の授業で活用 （中学校）	—	80%

※益田市教育委員会事務事業別点検・評価シートの変更のため、指標の名を変更した。

②確かな学力の向上を目指した教育の推進

○「学び舎ますだ」による学びの保障【充実】

5月15日～2月12日まで全17回実施。今年度の実績は次のとおり。

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
参加者数	8名	中止	中止	6名	15名	8名	4名	9名

指導主事＋ボランティアスタッフ2名（10月9日までの実績）

③子どもの可能性を伸ばす、個別最適化の推進

○個別最適化された学びを実現するため取組【改善】

- ・益田市定着度調査（埼玉県方式学力テスト）の実施

指標名	現状値	目標値（R7年度）
調査において1年間で伸びたレベル数（受験児童平均）	—	3.1

- ・小学生の文字を読む力を育むための取組（小学1年生 全員）
アセスメントとその結果を受けての具体的支援
- ・教職員の支援方法発見力を高めるための取組
マンダラートを活用した事例検討の定着（10月と12月に研修会実施予定）、テレプレゼンスロボットを使った外部専門家の助言（高津小、吉田小の特別支援学級で随時実施）

○切れ目のない教育を目指した「益田市版保幼小接続カリキュラム」を活用した取り組み

- ・15小学校区ごとにおける幼小交流活動の実施
- ・研修会の実施（10月、2月を予定）

指標名	現状値	目標値（R3年度）
「保幼小連携」を図るアンケート指標	—	90%

④ふるさとを愛し、誇りを持つ心を育てる教育の推進

⑦ライフキャリア教育の推進による生きる力の育成

○地域のヒト・モノ・コトを活かした総合的な学習の時間の全体計画・年間計画の作成と実施【改善】

- ・9中学校区ごとに地域と協働してカリキュラムが作成・実施できるし
かけとしての、保幼小中高特と地域の連携協働の取組会議内での研
修（5月実施 10月実施予定）

⑧益田型中高一貫教育の推進

○構想実現に向け、島根県教育委員会、島根大学との協議を実施。

○島根大学生と一緒に「夏休み！算数・数学パワーアップ教室」を開催
8月11日～13日 島根大学生13名 小学生19名 中学生14名
計46名参加

○「冬休み！算数・数学パワーアップ教室」の実施

12月に実施予定 夏休みに参加した大学生をキーパーソンとして、より
大学生が、主体的に企画・運営する形で計画中。

※島根大学との協議進展のため、事業を追加した。

協働のひとづくり推進課

横断目標 社会変化に対応できる持続可能なまち

基本施策1 次代を担う人材の育成・確保の推進

①対話を通したライフキャリア教育の推進

- ・益田版カタリ場の実施
益田東中（9/21 生徒 72 名地域の大人 24 名）
東陽中（9/15 生徒 47 名地域の大人 25 名）
小野中（8/24 生徒 34 名地域の大人 19 名）
益田翔陽高校（10/1 生徒 37 名地域の大人 19 名）
- ・新・職場体験の実施
益田東中（7/13～14、9/23～30）
東陽中（9/21～22）
美都中（9/14～16）
中西中（9/21～22）
高津中（9/8～10）
横田中（9/14～16）
益田中（9/15～17）
- ・明誠高校キャリアサポート事業（3 年生が公民館にて地域活動を実施）の実施
支援回数：93 回（明誠高校 15 回含む）
参加者 849 名（うち、明誠高校生 279 名、地域住民 65 名）
- ・益田高校 3 年探求学習での公民館等との協働事業の実施
⇒高津、豊川公民館、市立図書館

②学校外での中学生地域活動の推進

- ・益田東中学校 2 年生による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区 3 公民館との協働)
- ・横田中学校 3 年生による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区公民館との協働)
- ・益田中学校 1 年生による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区公民館との協働)
- ・小野中学校 1 年生による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区公民館との協働)
- ・匹見小中学校による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区 3 公民館との協働)

③公民館での多世代活動事業の推進

- ・高津公民館での県立大学生との協働活動の実施（8/11、8/20、9/13）

指標名	現状値	目標値（R3 年度）
益田市で地域活動をした県外の若者の延べ人数と満足度	—	250 人/80%
益田市で一週間程度、インターンシップや体験活動した延べ人数と	7	30 人/80%

満足度		
ライフキャリア教育に関わる大人の数	759 人	500 人
ライフキャリア教育に関わる市外の若者の数	7 人	3 人

基本施策 2 協働のまちづくりの推進

①「協働の事例シート」の活用

- ・ 27 事例の紹介

②市民協働事業の推進

- ・ 図書館魅力化事業「来ぶらりマルシェ」の実施（7/22、8/7、9/5）
- ・ アートをテーマとしたマルシェ「アトリエマルシェ」の実施（7/17）
- ・ 「日本遺産ビジターセンター（仮称）」市民協働推進委員会の実施（8/10）

指標名	現状値	目標値（R3 年度）
行政と市民や団体などが協働して地域の課題解決に取り組んだ件数	27 件	74 件

基本目標Ⅱ ふるさとを想う心にあふれた 人が育つまち

ひとづくりが循環する持続可能なまちづくりの推進

①地域ぐるみでの教育の推進

- ・ 新・職場体験の実施
 - 益田東中（7/13～14、9/23～30）
 - 東陽中（9/21～22）
 - 美都中（9/14～16）
 - 中西中（9/21～22）
 - 高津中（9/8～10）
 - 横田中（9/14～16）
 - 益田中（9/15～17）

指標名	現状値	目標値（R3 年度）
キャリア教育に参加した企業数	274 事業所	200 事業所

- ・ 横田中校区における地元自治会との協働による「みずいろ公園プロジェクト」実施（7/31、9/11）
- ・ 高津公民館での県立大学生との協働活動の実施（8/11、8/20、9/13）

②学校の学びと地域の実践の往還の推進

- ・ 明誠高校キャリアサポート事業（3 年生が公民館にて地域活動を実施）の実施

支援回数：93 回（明誠高校 15 回含む）

参加者 849 名（うち、明誠高校生 279 名、地域住民 65 名）

- ・ 益田高校 3 年探求学習での公民館等との協働事業の実施
⇒高津、豊川公民館、市立図書館
- ・ 益田東中学校 2 年生による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区 3 公民館との協働)
- ・ 横田中学校 3 年生による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区公民館との協働)
- ・ 益田中学校 1 年生による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区公民館との協働)
- ・ 小野中学校 1 年生による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区公民館との協働)
- ・ 匹見小中学校による総合的な学習の時間での地域貢献活動の実施
(校区 3 公民館との協働)

指標名	現状値	目標値 (R3 年度)
学校の学びを地域活動に活かす取り組みの実施地区数	10 地区	12 地区

③ライフキャリア教育の推進による生きる力の育成

- ・ ユタラボの運営による高校生、若者のサードプレイス【居場所】事業の実施
高校生の利用者：7 月 112 人、8 月 68 人、9 月 142 人
大人の利用者：7 月 66 人、8 月 71 人、9 月 84 人
イベント実施数：19 回

社会教育の促進

①社会教育の推進

- ・ 公民館ブロック主事研修会の実施（9/22）
- ・ 公民館主事研修会のコロナ禍による延期
(7/15 東大牧野教授によるオンライン研修会)
- ・ 社会教育コーディネーター定例会の実施（7/15、8/27、9/2）
- ・ 図書館魅力化事業「来ぶらりマルシェ」の実施（7/22、8/7、9/5）
- ・ アートをテーマとしたマルシェ「アトリエマルシェ」の実施（7/17）

指標名	現状値	目標値 (R3 年度)
図書館年間利用者数	55,660 人	130,000 人

- ・ 各地区つろうて子育て協議会の実施によるネットワーク化の推進

指標名	現状値	目標値 (R3 年度)
-----	-----	-------------

	つろうて子育て協議会実施回数	836 回	400 回
	②世代をつなぐ公民館活動等の実施		
	・ 明誠高校キャリアサポート事業（3 年生が公民館にて地域活動を実施）の 実施		
	・ 益田高校 3 年探求学習での公民館等との協働事業の実施 ⇒高津、豊川公民館、市立図書館		
	指標名	現状値	目標値（R3 年度）
	公民館活動の参加者 （うち、高校生以下）	36,346 人 (6,624 人)	140,000 人 (24,360 人)
	その他、関連する目標指標		
	指標名	現状値	目標値（R3 年度）
	「益田市には魅力的な大人が多 い」と答えた新成人の割合	—	85%
	「将来、益田に住みたい」と答え た新成人の割合	—	80%
	スポーツ施設年間利用者数	98,159 人	203,000 人
成果	学校教育課 未来の担い手づくり部会でのキーワードとなる「協働」「対話」の基礎的・基本的な力を小中学校の学びの中で身につけられるよう、一つ一つの事業を位置づけている。その意図と学校教育と結びつけるために本課では、「社会に開かれた教育課程」「個別最適化された学び」等、本年度より実施された学習指導要領の柱となる考え方と紐づけながら各事業を学校に周知し、順調に事業を実施している（年度途中までの実績や変更点は令和 3 年度進捗状況を参照）。 新型コロナウイルス感染症拡大により、「学び舎ますだ」を 2 回の中止したが、それ以外の事業は、MicrosoftOffice365 のオンライン会議システム Teams も活用し、実施できている。 協働のひとづくり推進課 ・ 8 月 2 4 日に今年度第 1 回益田市未来の担い手育成コンソーシアムを開催、未来の担い手育成に関する官民の推進体制が促進された。 ・ 日本財団「子ども第 3 の居場所事業（常設ケアモデル）」採択により、生活困窮世帯を中心に、主に小学校手学年児童（未来の担い手）の支援体制の強化が図られた 事業主体：NPO 法人志塾フリースクール		

課題	学校教育課 本年度より新規にスタートした『GIGA スクール構想で「つながる」学びの充実に関する取組』については、学校における高速・大容量回線が必要であるが、現在その接続に不安定な部分があり、先端開発課の協力も仰ぎながら、保守業者と協議を重ね改善を図っている。 また、どの事業においても教職員の研修が非常に重要となるため、OJT が充実する研修や訪問指導のしくみを工夫する必要がある。 協働のひとづくり推進課 ライフキャリア教育の推進により子どもたちの意識の変容が表れているが、その変容が行動の変容（例えば、ライフキャリア教育を受けていない世代と受けた世代の高卒地元就職率に変化があるのか等）に表れているのかが不明。
今後の取組方針・計画	子ども福祉課 ・放課後児童クラブ支援員研修(11/14、11/28、12/4、12/18) ・青少年育成アドバイザー情報交換会 今年度より新たに開始する企画。青少年育成アドバイザー同士でこれまでの活動や想いを共有して今後の取り組みに活かすことで、より充実した子育て支援に繋げる ・産んでくれてありがとう教室(実施未定、現在も募集はしている) 学校教育課 令和3年度の進捗状況・前年度からの改善点で示している計画・途中経過に従い、着実に事業を実施していく。その中で MicrosoftOffice365 のオンラインアンケートツール Forms を活用し、客観的なデータに基づき、逐次事業改善を行うことで、よりねらいに迫れる事業展開を行っていきたい。 協働のひとづくり推進課 ・益田市未来の担い手育成コンソーシアムの開催 （日程）11月10日（水） （概要）循環型高度理工系人材の育成と推進体制の構築 複合化・複雑化した課題を抱える者や世帯への支援についてほか ・高校カトリ場の実施。実施にあたっては、キャストとして市内事業所従業員の参加を促すため、商工会議所経由で依頼を実施 （日程） 益田高校 11月15日（月）、18日（木）、19日（金） 明誠高校 11月16日（火） ・その他、課題で述べた行動の変容も含め、数値化できるものは数値化を行い、施策の効果の検証ができるようにしたい。

特記事項

情報発信に寄与した取り組み

学校教育課

- ①教育総合展（EDIX 東京）での発表（5月）
※コロナウイルス感染症拡大のため参加中止
概要：益田市でのタブレット端末の活用状況について発表
- ②Grafsec オンライン・ワークショップ(6月・9月)
概要：益田市の情報モラル教育の取組についてパネリスト、ファシリテーターとしてオンラインで参加
- ③関西教育 ICT 展での発表（8月）
※コロナウイルス感染症拡大のため参加中止
概要：益田市でのタブレット端末の活用状況について発表
- ④特別支援教育の充実に向けたテレプレゼンスロボットの活用を報道発表（8・10・2月）
概要：島根県立大学の西村健一准教授との共同研究。カメラや画面を搭載したテレプレゼンスロボットが、西村准教授の遠隔操作で教室内を動き回り授業の様子を送信し、それをもとに准教授と授業者がよりよい支援について話し合う取組が紙面掲載。
- ⑤「夏休み！算数・数学パワーアップ教室」（8月）
概要：島根大学生が市内小中学生に対して学習支援を行ったり、自身の生き方について語っている様子が TV・紙面に掲載
- ⑥情報リテラシー教育に関するコラム掲載(9月)
概要：小中学生への情報リテラシーの意識向上に関する本市の取組について執筆。一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会（Grafsec）、一般社団法人セキュリティ対策推進協議会（SPREAD）より配信。

協働のひとづくり推進課

- ①読んで旅する、日本と世界の色とりどりの教育【書籍】
(9/10 初版発行。武田緑氏著。)
2章 日本の中の、多様な学校／教育魅力化の取り組み
- ②明治学院大学大学院生ヒアリング【ヒアリング・オンライン】(7/13)
概要：益田市のひとづくり施策について
- ③えひめ南予きずな博【ヒアリング・オンライン】(7/23)
概要：益田市のひとづくり施策について
- ④宮崎県社会教育委員研究集会【ヒアリング・オンライン】(8/2)
概要：益田市のひとづくり施策について
- ⑤鳥取県日南町教育委員会視察【現地視察受け入れ】(8/5)
概要：益田市のひとづくり施策について
- ⑥文部科学省大臣官房文教施設企画防災部企画調整官 廣田貢氏
【ヒアリング・オンライン】
概要：益田市のひとづくり施策について

	⑦令和 3 ～ 4 年度島根県議会文教厚生委員会調査受け入れ【現地】(11/10) テーマ：島根の未来を担う人材を育てる高校教育のあり方 地域コンソーシアムの取組みについて 高校における地域と連携した学習の状況について
--	---